



常務の一言



常務取締役 穴口 義記

新元号令和になって一か月が経ちました。5月としては例のない高温の日々が続いた。雪の少ない冬、高温の5月、夏はどうなるのだろう。猛暑、大雨、それらに備えた対策だけはしておこう。

当社は、例年より早めに工事に着手し、すでに最盛期になろうとしている。今後も発注される工事が幾つか予定されているが、人手不足のため、そこに担わせる技術職員や下請会社の目途が立っていないことが、土木部長らの悩みとなっている。

主力の技術職員が50歳台になった10年ほど前から、新卒採用などの人手不足の対策をとってきた。技術職員の採用については社員が協力し合いながら各大学、高校を回り、合同就職説明会に積極的に出席したりなど、採用活動に励んでいる。建設労働者については直営班を復活させたり、ネパール人技能実習生を採用したり、さらには当社の協力会の入会を促して協力会の会員会社を増やすことによって、当社との繋がりの強い下請会社を増やして工事を担ってもらっている。しかしながら、技術職員は建設不況の時代に採用を控えたことにより、30歳~40歳前半の働き盛りがいない状態になっており、長年の協力会社である下請会社は人員減少に悩まされていて施工能力が低下している。

今後の対策は、建設系の学科を履修していない若手技術者の能力向上に努め、さらには会社に定着させること。また、ネパール人を主とする外国人作業員は、補助的な作業員から一段階ランクを上げた技能工にすることである。

ある統計によると、今のような少子化が続くと西暦3,000年には日本人は0人になるそうだ。当社がある山間地域は、より早く厳しい状況におかれるとみられる。このため、この地域の未来を守りぬくためにも、その時代の周辺環境に合わせた対策を粘り強く取っていくつもりである。

2019年全国安全週間
スローガン
「新たな時代に PDCA
みんなで築こう ゼロ災職場」
7月1日~7日までの一週間は全国安全週間です。
スローガンにも入っているPDCAとは、Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)の頭文字を取ったものです。
このサイクルを大事にし、環境を見直して、安全に取り組みしましょう。

各企業の優良従業員表彰として、当社からは佐伯ヤンジさんが選出され、立山舟橋商工会で表彰式が行われました。

Great work!

GENBA

【工事名】 土地改良総合整備 女川新・東福地区 S-43号水路ほか工事
【契約日】 平成30年6月11日
【実工期】 平成30年8月20日~平成31年3月22日
【発注者】 富山県 富山農林振興センター
【担当者】 現場代理人：主任技術者 笹岡菊水
現場技術者：藤本一行・志鷹飛呂・清水拓海

本工事は余裕期間制度の工期だったので、8月20日を工期初日として施工しました。客土工を37,000m²(t=5cm)と3経路の用水路を合計747m施工する工事であり、降雪期前に客土均平と構造物を終えることができるかが工事完了の鍵でした。
今年例年より雨天が少なく、降雪時期気が遅かったので、客土工は11月末、水路工事は2社業者で施工したところ、1月末までにコンクリート構造物は終わりました。ただ、水路工が浮き上がる現象がありましたが、発注者と協議し、サイドドレーン工を施工して解決することができました。
当初は新人の清水と二人体制で忙しかったのですが、12月からは藤本・飛呂の参入により、余裕をもって現場を完了することができました。

用水路工(完成)

客土工(完成)

6月行事予定

1日~ 全国安全週間
準備月間

18日(火) 会社安全祈願祭
21日(金) 会社全体会議
28日(金) 丸新会ゴルフ

随時
社内安全パトロール

健康診断について

6月18日に志鷹会館で健康診断があります。
当日は検診車が来ますので、会館に駐車される方ご注意ください。
また、各病院で受診された方は補助が出ますので、領収書を総務部へ提出してください。

リレーコーナー

『大河ドラマ「いだてん」』 ペレット工場 金谷 寿春

今年ラグビーワールドカップが日本で開催され、来年はいよいよ東京オリンピックの年です。国内では様々なスポーツイベントが開催され、盛り上がってきています。NHKの大河ドラマでは、日本が初参加した1912年のストックホルム五輪から、戦争のため返上した40年の東京五輪などをへて64年の東京五輪までの様子が「いだてん」という番組で放送されています。

私は趣味でマラソンをしており、主人公の金栗四三が日本最初のオリンピック選手でマラソンに出場したこと、箱根駅伝をはじめとする駅伝レースを考えた人物であることに関心をもちました。また、東京高等師範学校校長でアジア人初の国際オリンピック委員会委員の嘉納治五郎は、東京五輪の招致に尽力する人物です。恥ずかしながら、かつて自分がお世話になった筑波大学の前身の学校長とは知りませんでした。そんなこともあって、我が家では録画までして毎週観ています。

マラソンについて思うことは、現在では科学的に研究された練習方法や食事があり、ウェアやシューズもお金をかければ高性能なものが手に入ります。しかし、「いだてん」の時代は根性だけの練習で、服装は木綿のシャツと足袋でフルマラソンの距離を2時間台で走っていたとは、本当に信じられません。昔の選手の根性には感心させられます。私は健康のために趣味でランニングをしているだけなので、そこまで気合を入れる必要はないのですが、スポーツをする人間として興味深く番組を観ています。

来年開催される東京オリンピックの前に、昔のスポーツ大会オリンピックを題材にしたドラマ「いだてん」を観て、別の角度からオリンピックを楽しんでみようと思います。みなさんも如何でしょうか。

たまたまですが、当社でマラソンを趣味にしている「いだてん」2人の名前に、金栗四三と同じ「金」が付くのも何かの縁でしょうか・・・